

千葉市新基本計画区基本計画(原案)に対する意見【区計画部会】(別途提出意見)

資料3

No.	委員名	該当区	意見	答申(案)たたき台への反映
1	鍋嶋委員	全体	基本計画は10年間をスパンとしているが、区の計画については、市民がよりイメージしやすいように前期、後期に区分して、5年間での到達点を記述してはどうか。また、数値目標についても可能な範囲で入れてはどうか。	1(4)
2	鍋嶋委員	全体	地域福祉計画等との関連付けがあっても良いのではないか。地域の福祉の担い手として、社会福祉協議会地区部会の役割は大きいと思う。PTA、地縁組織、NPOと並べて社会福祉協議会の役割について記載があっても良いのではないか。	1(7)エ
3	池田委員	全体	地域に所在する大学・高校等と連携し、若者の力を活用した、防犯・防災協力員制度(仮称)の創設に関する記述を追加すること。 例～松戸市(千葉大園芸学部防犯サークル) 銚子市(千葉科学大学防犯・防災サークル) 我孫子市(中央学院大学防犯サークル) 木更津市(清和大学防犯サークル) では、大学生を中心とした活動が立ち上がっている。	1(7)カ
4	細谷委員	全体	千葉市が「政令指定都市」に移行し「区政」になったことによる区民に対する福祉・医療・教育を中心とする「地方自治」の柱が大きな目的としてあったのではないかと思います。そこから考えた時、まずその時の目的に沿った現状がどうなっているのかが、問われると思います。その意味では、「区の概況」も「現状と課題」もそこから考えたいと思います。「区の概況」で共通のものとして見ておきたいのは、「地域資源」についてです。これは自然的資源と同時に社会的資源(公的施設の充実度、人材配置の適正化など)も、その内容としてあるのかなと思います。そこから考えると、「現状と課題」は、特に「少子高齢化」などは、「言葉」による表現だけではなく、基礎的数字が「現状分析」にとって大事なものになります。地域の福祉・医療・介護・教育などの実情は、そこに住む住民にとってどうなっているのか。ソフト面(人材配置)、ハード面(施設)、両面における点検結果が基礎になって、これから10年後の「将来像」を立て、「施策の展開」がされていかなければならないと思うのですが、いかがですか。 各区の自主性を大事にし、しかし「意識」に重点をおかず、具体的な数字に基づく方向性、取り組みが可能になるようなものを期待したいと思います。と同時にそこにおける行政の任務も、地域住民に全てを任せるとは、県へ提起すべきもの、国へ押し上げるべきものなど明らかにして、本当に地域住民を支える地域行政が作られていくことを望みます。 私など地区行政に素人の立場から言って、大変参考になる「現状」の分析があり、「課題」を明らかにし、今後の方向性を示すテコにしています。 例えば「大規模団地の高齢化率」が直近の平成22年3月末のデータで記されています。こういう形の分析は、花見川区だけに止めずに全区で、全区民の問題意識にしたいものです。これはまた「高齢者」だけのものではありません。「子供」に関する課題にも当てはまるものと言えます。	1(5)
5	池田委員	全体	各区共に施策の展開に対する具体的な内容の表記が必要ではないか。 区基本計画は市基本計画を受け地域住民にとって、より身近で分かり易い具体的施策を盛り込むべきではないか。 千葉市が全国的に誇れる、アピールできる、集客を期待できるものは何か、各区分に個々具体的な魅力の発信が必要である。	1(6)
6	細谷委員	中央	「現状と課題」の「1 魅力ある資源」に、「・・・特に、中心市街地の活性化が求められています」との記述があるが、このことは、裏を返せば「活性化していない面もある」ということだと思います。これは「現状」ですが、それは何が原因でそうなっているのかが分らなければ、「それではどうすれば良いか」と方向性に繋がる道が開けないと思いますが、これはどう分析されているのでしょうか。	2(1)ア
7	細谷委員	中央	「現状と課題」の「2 少子超高齢化」について、ここは27年への見通しではなくて、現状の具体的な数字が欲しいところです。	1(5)
8	細谷委員	中央	「現状と課題」の「2 少子超高齢化」について、「…公共施設の適正配置、地域コミュニティづくりの問題…」とは、具体的にどういうものなのかもはっきりさせたほうが良いのではないかと思います。	2(1)イ
9	細谷委員	中央	「現状と課題」の「2 少子超高齢化」について、「…介護や支援を必要とする高齢者が住み慣れた地域で安心して生活…出来る仕組み」の基礎になる地域の福祉・医療・教育の数字的な現状を明らかにし、その問題解決の糸口を見つけないといけません。	1(5)
10	細谷委員	中央	「現状と課題」の「4 暮らしの環境・コミュニティ」について、「暮らしの環境」を整えるのは、決して「治安」だけではないと思います。勿論「治安」の大事さは否定するものではありませんが、それ以上に前項でも記した「福祉・医療・教育」の現状が、老若男女問わずに行渡っているのかの検証が必要かと思っています。「意識」があまり重視される社会であれば、少なくとも「住みよい街」とは言えないのではないのでしょうか。	2(1)ウ
11	重村委員	中央	公共施設間の有機的な連携はもちろんのこと、中央区にはJFEのスポーツ施設をはじめとした民間施設も充実しているので、民間施設の有効利用も推進してほしい。 「現状と課題」の「5 観光・文化・スポーツ」における「施設間の有機的な連携などが求められています。」との記述に、次の文言を追加する。 「施設間の有機的な連携及び民間施設の有効利用などが求められています。」	2(1)エ
12	池田委員	中央	「施策の展開」の「3-(3)スポーツによる魅力づくり」について、フクダ電子アリーナの多角的活用方策の盛り込むこと(各種イベントの誘致等、観光施策の推進)	2(2)イ
13	池田委員	中央	「施策の展開」の「4-(3)海辺を活かした賑わいの場づくり」について、ポートタワー、ポートパークを中心とした、ウォーターフロントの具体的な有効活用施策を例示すること。	2(2)ウ

千葉市新基本計画区基本計画(原案)に対する意見【区計画部会】(別途提出意見)

資料3

No.	委員名	該当区	意見	答申(案)たたき台への反映
14	重村委員	花見川	「現状と課題」の「3 自然環境・文化～魅力ある地域資源の活用」について、花見川区には花島公園スポーツ施設、こてはし温水プールもあり、スポーツ・レクリエーションに活用できると思いますので、タイトルに「スポーツ」も入れてほしい。	3(1)ア
15	重村委員	花見川	「現状と課題」の「3 自然環境・文化～魅力ある地域資源の活用」における「総合公園として花島公園が整備されています。」との記述に、次の文言を追加する。 「総合公園として花島公園及び花島公園スポーツ施設が整備されています。」	3(1)ア
16	大高委員	花見川	「現状と課題」の「7 産業～地域のにぎわいづくり」に、「遊休農地の新たな活用方法として、クラインガルテンなどについても、検討する必要があります。」とあるが、「クラインガルテン」を削除する。「市民体験農園」で十分かと存じます。	3(1)イ
17	春川委員	花見川	「施策の展開」の「2 こどもや高齢者の笑顔が花ひらくまち」に、「暮らしに必要な医療、福祉、商業などの機能を備えた集約型市街地の形成…」との記述があるが、高齢の方々の暮らしに必要な商業機能を、大規模団地内でどのように確保していかれるのでしょうか？この点がわかるような記述の追加をお願いします。	3(2)イ
18	春川委員	花見川	「施策の展開」の「3 安全と安心が花ひらくまち」に、「…高い公共交通網の充実に取り組み、高齢者や障害者の外出の足を確保し、…」との記述があるが、需要が少なくとも高齢の方々の外出に必要な交通機関は花見川区が独自に確保されるのでしょうか？この点がわかるような記述の追加をお願いします。	3(2)ウ
19	大高委員	花見川	「施策の展開」の「4 心と心のつながりで花ひらくまち」に、図書館、公民館、コミュニティーセンターなどの既存の区社会教育資源の活用(区民との連携、身近な生涯学習・区民の交流の場など)を盛り込んでください。	3(2)エ(ア)
20	重村委員	花見川	「施策の展開」の「4 心と心のつながりで花ひらくまち」について、「(3)スポーツ・レクリエーションを通じたコミュニティづくり」を追加してもらいたい。	3(2)エ(イ)
21	重村委員	稲毛	「施策の展開」の「5 伝統・文化などの地域資源を大事にし 人・地域・学校が活発に交流する ともに輝くまちづくり<文化・教育>」について、「施策の展開」5(1)にスポーツに関する記述があるので、タイトルにも「スポーツ」を入れてほしい。	4
22	重村委員	若葉	「施策の展開」の「2(3)健康に暮らせる環境づくり」について、若葉区にはスポーツ・レクリエーションを行える施設、公園が多くあり、また、健康づくりには運動が欠かせないことから、「スポーツ・レクリエーションを通じた健康づくり」の項目を立ててほしい。	5(1)イ
23	池田委員	若葉	「施策の展開」の「4-(2)地域資源の魅力向上と情報発信」について、動物公園・加曽利貝塚等の地域観光資源の更なる魅力発信(地域ブランド力の強化)の具体的な施策を記載すること。	5(1)エ(イ)
24	池田委員	若葉	「施策の展開」の「4-(3)農業・農村を地域資源として活用」について、地域農産物直売所の増設等、地産地消施策の推進による地域と農産者との交流活性化施策の推進や、区の特性である農業を主体とした具体的な施策を記載すること。	5(1)エ(ウ)
25	重村委員	緑	「現状と課題」の「1 地域コミュニティの充実・再生」について、子育て世代や元気な高齢者を活かすには、スポーツ・レクリエーションが有効であるため、「スポーツ・レクリエーションを通じたコミュニティづくり」を追加してもらいたい。	6(1)
26	池田委員	緑	「施策の展開」の「2 緑を活かしたまちづくり」について、区の特性である、自然や公園の活用を図る、具体的な施策方針を盛り込むこと(例～昭和の森における国際クロスカントリー等、より一層の開催アピールによる集客推進)	6(2)イ
27	池田委員	緑	「施策の展開」の「2 緑を活かしたまちづくり」について、地域農産物直売所の増設等、地産地消施策の推進による地域と農産者との交流活性化施策の推進や、区の特性である農業を主体とした具体的な施策を記載すること。	6(2)ア
28	重村委員	緑	「施策の展開」の「5-(1)地域ごとの魅力と特性の活用」について、緑区には、昭和の森公園をはじめ、古市場、有吉公園スポーツ施設があり、それらを生かしたスポーツ・レクリエーションの活動の振興に関する記述を加えてほしい	6(2)ウ
29	池田委員	美浜	「施策の展開」の「1 海辺を活かしたにぎわいのあるまちづくり」について、海辺という自然観光資源を最大限に活用した具体的な観光施策を盛り込むこと。	7(1)ア(イ)

No.	委員名	該当区	意見	答申(案)たたき台への反映
①	細谷委員	花見川	「現状と課題」の「4 こども・高齢者～少子超高齢化への対応」について、「…学校の規模・配置を適正化する」ことは、決して「…統廃合」だけではないと思います。そこで働く人、そこで日々の暮らしを行っている人を含めた地域の人々がより良い方向性が決められたら、と願います。	記載しない(感想)